

## 水を守るためには

洗足学園中学校

二年 渡邊 莉子

水は私たちが生活する上でなくてはならないものである。飲み水としては勿論、農業や工業などにも使われる。でも水は無尽蔵にある訳ではない。他人事としか考えた事がないかもしれないが、汚れた水を飲んで命を落とした人はたくさんいる。水の惑星と言われている地球でも地球上で飲料水として利用できる水はわずか〇・〇一%しかなく、世界人口の二十三%に相当する十二億人の人々がこの問題で生活に支障をきたしている。私達もいつ当たり前の様に水が使えなくなるか分からないのだ。

ならば私達は何をしたら良いだろうか。

そもそも、私達が生活するための水はどのようなにして私達のもとに辿りつくのだろうか。私達が毎日使う水の主な源は川の水であり、その大もととは雨水である。雨が

降り、川や地下水となって海へ戻り、蒸発してまた雲をつくって雨を降らせる。地球の水は太古の昔からこのように循環しており、その中で人々は主に川から水を利用して飲んでいるのだ。勿論有害な物質も含まれているので浄水場をはじめとする様々な施設を通して水は私達のもとへ運ばれている。そして使われた後の水である生活排水は、下水処理施設できれいな水にしてから川や海に戻される。しかし、当たり前のことだが水だけでは勝手に循環することはできない。太陽や森林、生物など色々なものの影響によって水は循環しているのだ。私はその中で森林と水との関係性について調べることにした。

森林は雨が川や地下水になるまでの中継としての役割を果たしている。まず、雨が降って斜面を走り、一つの水のかたまりとなって川ができる。大雑把に言うとなんか川がこのようなしてできるのはなんとなく察しがつくだろう。次に、川にならずにたまった水は土の中に浸透して何十年もの時間をかけてゆっくりと下に落ちていく。そしてこれ以上下に降りることのできない地層にぶつかった時、横に流れて地上や海に溢れ出す。それが地下水だ。つまり森林は常に水を溜めているのでダムのような働きをし

ている。森林を守ることは、水を守ることに繋がるのだ。

では具体的にどうやって森林を守ればいいだろうか。本来、森林を含む自然は回復能力を持っているため、自然に回復し森林面積を著しく失うことはない。しかし農地開発や過剰伐採、過剰な焼き払いが回復速度を超えて行われると森林は失われる一方だ。ならば回復速度を超えてしまった分を戻すことで、森林をまた再生させることができるのだ。実際に行われている取り組みの中で二つ紹介する。

一つ目は、森林認証マークだ。森林認証マークは合法性や持続可能性を保証するものであり、適切に管理された森林の木材を利用していることを、第三者機関が認証するもので、消費者である私たちが、木材や木材製品を選ぶ上での一つの指標とできる民間の制度だ。企業努力を応援する形で商品を購入することで、違法伐採などを減らすことができる。

二つ目は、地球温暖化を緩和する取り組みだ。地球温暖化や気候変動は、森林の減少や劣化に影響している。近年頻発する森林火災の原因の一つには気候変動による

異常少雨や乾燥、熱波などが関係している。冷暖房機の設定温度を調節して過剰に使わないことや、自動車ではなく電車を使うなどをすれば、森林を少しでも守ることができるのだ。